

～「紙片の宇宙」展：“挿絵本”をよりお楽しみいただくための新プロジェクト～

◆人気イラストレーター 浅生ハルミンさん書き下ろしの
鑑賞ガイドとコメント・パネルが新たに登場！

◆見どころを紹介するガイドムービーを YouTube にて公開中！

ポーラ美術館（神奈川県・箱根）は、企画展「紙片の宇宙 シャガール、マティス、ミロ、ダリの挿絵本」（2015年3月29日（日）まで開催中）をよりお楽しみいただくため、イラストレーターの浅生ハルミンさんが絵・テキストを手掛ける鑑賞ガイド「紙片の宇宙を歩くハルミンノート」と、会場に設置するコメント・パネルを作成しました。鑑賞ガイドは12月26日（金）から本展来場者に配布、コメント・パネルは2015年1月22日（木）から本展会場に設置いたします。



「紙片の宇宙を歩くハルミンノート」表紙

◆ ほのぼのとしたイラストと、本と画家への愛情たっぷりのテキストで本展を紹介

本展では、シャガール、マティス、ミロ、ダリをはじめとする 20 世紀の巨匠たちが、より身近に絵画と向き合える作品として、版画技法によって制作した「リーヴル・ダルティスト」（芸術家による挿絵本）を展示しています。19 世紀末から 20 世紀半ばにかけて隆盛した“挿絵本”には、「世界で最も美しい本」とよばれるものもありました。しかし、時代とともに“挿絵本”の文化は衰退し、現代ではほとんど制作されないため、知名度は決して高くはありません。

そこで、本展をご覧になる方々に“挿絵本”をより身近に感じて理解し、魅力を楽しんでいただけるよう、古書と猫をこよなく愛する人気イラストレーターでエッセイストとしても活躍中の浅生ハルミンさんに、本展のナビゲーターを依頼し、鑑賞ガイド「紙片の宇宙を歩くハルミンノート」と、会場に設置するコメント・パネルを作成いたしました。「ハルミンノート」では、本展への感想や画家にまつわるエピソードを、ハルミンさんによる描き下ろしのイラストとともに紹介。ほのぼのとしたイラストとともに「紙片の宇宙」展をお楽しみいただけます。

浅生ハルミンさん

【コメント】

「本が好きで、紙ものが好きで、古本も大好きな私にはこたえられない展覧会でした。

隅々までじっくり観て、画家たちの創作の息づかいに触れてほしいです。」

【プロフィール】



1966年三重県生まれ。イラストレーター、エッセイスト。

著書に『私は猫ストーリー』（中公文書）、『猫の目散歩』（筑摩書房）、『猫座の女の生活と意見』（晶文社）、『三時のわたし』（本の雑誌社）、『猫のパラパラブックス』（青幻舎）など多数。『私は猫ストーリー』は2009年に映画化され話題となる。

◆ **本展の魅力やシャガール、ミロ、マティス、ピカソら巨匠の作品を紹介するガイドムービーを公開中**
 本展の担当学芸員が、見どころや展示作品を余すところなく紹介するガイドムービーを、YouTubeにて公開しています。本ムービーでは特別に、マティス『詩集』とシャガール『サーカス』をめくるシーンを収録。作品保護のため会場では作品に触れていただくことができませんが、本ムービーは、貴重な“挿絵本”をめくる様子を見ることができる、またとないチャンスです。

URL: http://www.polamuseum.or.jp/sp/shihen/o20141217_01

《ガイドムービー キャプチャー》



担当学芸員が本展を紹介



マルク・シャガール「サーカス」



会場風景

■企画展「紙片の宇宙 シャガール、マティス、ミロ、ダリの挿絵本」 **開催中**

20世紀絵画において冒険を試みたシャガール、マティス、ミロ、ダリをはじめとする画家たちは、より身近に絵画と向き合える作品として、版画技法による豪華な挿絵本の制作にも取り組んでいます。本展ではポーラ美術館のコレクションの中から、20世紀の巨匠によって制作された、挿絵本の黄金期にきらめく代表作をひもとき、初公開の挿絵を含む51点の挿絵本と、関連する絵画作品をご紹介します。めくるめく、「絵画」と「書物」の出逢いをご堪能ください。

【会期】2014年9月21日（日）～2015年3月29日（日）

※会期中無休 ただし、2015年1月21日（水）は休室



アンリ・マティス《イカロス》『ジャズ』1947年刊
 ポーラ美術館

■企画展「セザンヌ—近代絵画の父になるまで」 **2015年4月4日（土）開幕**

ポーラ美術館が収蔵するポール・セザンヌ（1839-1906）の肖像画、水浴図、静物画、風景画の作品9点に加え、国内に収蔵されている作品を集めて、セザンヌが「近代絵画の父」になるまでの歩みを、同時代の芸術家たちとの交流や対話を跡づけながら検証していきます。

【会期】2015年4月4日（土）～2015年9月27日（日） ※会期中無休

＜ポーラ美術館について＞

ポーラ美術館のコレクションは、ポーラ創業家二代目であった鈴木常司（1930～2000）が40年以上にわたり収集したものです。日本最大級の印象派のコレクションを中心とした西洋絵画、日本の洋画、日本画、東洋陶磁、古今東西の化粧道具など総数約9,500点を数えます。

「箱根の自然と美術の共生」をコンセプトに、周囲の環境に配慮し、森に溶け込むような設計がされているほか、2013年にオープンした国立公園内という立地を活かした遊歩道では自然に親しむことができます。



【住所】〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山1285

【電話】0460-84-2111

【開館時間】9:00～17:00（入館は16:30まで）

【休館日】年中無休（展示替のため臨時休館あり）

【入館料】大人1,800円、シニア割引（65歳以上）1,600円、大学・高校生1,300円、中・小学生700円

※料金はいずれも個人料金、消費税込み ※中・小学生は土曜日、入館無料

【遊歩道 開放期間】4月1日～11月末

【ホームページ】<http://www.polamuseum.or.jp>

■報道（広報写真・取材等）に関するお問合せ先

ポーラ美術館 広報事務局：後藤、田中、小椋、三井

TEL 03-3575-9823 / FAX 03-3574-0316 / メール polapr@kyodo-pr.co.jp